

「女性研究者支援モデル育成」事業は平成23年度をもって終了いたしました。学内外の皆様のご参加、ご協力に深く感謝申し上げます。平成24年度以降も、男女共同参画室では、奈良先端大の学内事業として、女性研究者支援、男女共同参画推進を行ってまいります。今後とも活動へのご参加、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今後の活動予定

2012年11月10日(土) ・高山サイエンスフェスティバルにて参画室広報ブース及びイベント一時託児を実施予定

2012年12月7日(金) ・第5回男女共同参画推進シンポジウム
「時代を翔ける女性研究者たち ～その軌跡とキャリア展望～」

講演者： Samiha Mourad氏 (Santa Clara Univ.)
大隅 典子 氏 (東北大学)
和田 浩美 氏 (パナソニック株式会社)

場所：本学ミレニアムホール

活動報告

2012年1月 ・ Top Runners ～Women's Life in Science 「時代を切り拓く女性研究者」～ (国際シンポジウム)
学内外から247名の参加を頂き、国内外の世界に活躍する女性研究者たちの、研究と家庭生活の両立及び強い意志と努力で収めた成功の軌跡についての興味深い講演に、熱心に耳を傾けました。



2012年3月 ・平成23年度第4回男女共同参画推進委員会議
・奈良先端大 受験生のためのオープンキャンパス2012にて女性学生向けセミナー「女性研究者になるための相談会」、参画室広報ブース及びイベント一時託児を実施

2012年5月 ・奈良先端大 受験生のためのオープンキャンパスにて女性学生向けセミナー「女性学生のための相談会」、参画室広報ブースおよびイベント一時託児を実施

2012年7月 ・平成24年度第1回男女共同参画推進員会議

一時託児室「託児室せんたん」のこれから

一時託児室「託児室せんたん」が開室されて、1年が経ちました。学内での部屋探しから開室に至るまで、また開室後の部屋の利用方法等については、子どもをもつ教職員の方にとって、家庭と仕事を両立させるための有効な場所になるように、と調整を重ねてきました。



現在、「託児室せんたん」には常駐するシッターがおらず、利用者自身で確保していただく形をとっています。このことについて「身近に預かってもらえる人がいない。」「急な預かりが必要な時、預かってもらう人を探すのは難しい。」との声を多数の方からいただきました。

一方で、「部屋が分かれていて使いやすい。」「冷蔵庫やレンジなども備えつけられていて、便利。」「部屋も安全に配慮されていて、おもちゃもたくさんあるし、子どもたちも喜んで遊んでくれる。」との利用者からのうれしい声も多数いただいています。

また、本学で開催される学会等でも託児の場として「託児室せんたん」を利用していただくことができます。

「託児室せんたん」のこれからの在り方について、みなさまと共に考えていけたらと思っています。「託児室せんたん」の利用方法など、ご意見、ご希望等ありましたら、参画室までお寄せください。



育児ミニコラム vol3. ～保育にかかるお金いろいろ～

子どもを育てながら仕事をしていく上で、子どもの保育にはいろいろとお金がかかるものです・・・保育園や幼稚園の保育料、急な預かりを依頼したい時のシッター料金など、どのくらいかかるかご存知ですか？保育料も、預ける子どもの年齢や、世帯の収入状況により異なってきます。また、自治体によっても金額は異なってきます。

【生駒市の保育園保育料(参考)】3歳児未満：約3～7万 3歳児：約2～3万 4歳以上：約1～3万

* 生駒市については2人目の保育料については半額措置となる

【生駒市立の幼稚園保育料(参考)】3～5歳児：約7000円

【シッター料金(参考：ポピンズ)】登録料：52,500円 年会費：10,500円 保育料金(1時間あたり)：約2～3,000円
【(参考：マザーネット)】年会費：8,000円 保育料金(1時間あたり)：約2,500円

シッターの情報などが必要な場合は参画室までご連絡ください。状況に応じてできる限り情報提供いたします。

育児ミニコラム vol4. ～お父さんの子育て～

男性は「仕事」、女性は「家庭」といった昔の環境とは変わり、現在では男性が育児休暇を取ったり保育園や幼稚園のお迎えに行くなど積極的に育児に参加するようになってきました。

実際、全国における男性の育休取得率は0.57%、奈良県においては0.8%（平成18年度厚生労働省調査）と全国平均よりも高くなっています。

しかし、6歳未満児のいる男性が1日において子育てに費やす時間を国際比較してみると、1時間程度費やしているイギリス、アメリカ、スウェーデン、ドイツなどに比べて、日本は33分（平成18年度総務省調査）という非常に短い統計結果が出ています。

「もっと子どもと遊びたい」「もっと子どもと過ごしたい」そう思う男性が増えているのに、社会の環境としてはそれになかなか追いついていない状況です。

親個人の意識改革だけではなく、職場や社会全体を巻き込んだ対策がこれから必要になってきます。



お知らせ

第7回女子中高生のための関西科学塾

9月1日(土)に奈良女子大学において、『女子中高生のための関西科学塾』の第1回が開催されました。中高生及び同伴者を加えて82名の参加があり、京都大学の稲葉カヨ先生の特別講演に始まり、女性研究者との交流会など、女子中高生たちが女性研究者に身近に接する機会となりました。けいはんな女性研究者ネットワークと本学から、10名の女性研究者が講師として参加しました。

けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、ワークライフバランスの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法:参画室HPからメールフォームにてお申し込み下さい。

URL: http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html



◎実際に会っておしゃべりを楽しんでいただく場として、茶話会を催しています。お子様同伴もOK!



◎ネットワーク参加者の職場がどんな様子かを皆で見に行く、見学会も行っています。

ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、幅広く女性研究者のワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内
受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受付時間: 月曜日～金曜日 10:00～12:00/ 13:00～16:00
直通TEL: 0743-72-5138
専用E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp